

平戸オランダ商館めぐり・大盛況でした。

平戸巡り参加者は50名でした。大勢の皆さんの熱気とよい行いで、前日まで大雨の平戸の町も私たちが歩いているときは雨が止みました。松浦史料博物館では久家孝史さんに、生月島の博物館では中園成生さんに大変お世話になりました。

前山会長や古藤浩さんらからも、参加が大変よかったとの連絡をいただきました。



平戸オランダ商館倉庫前にて

また、現在上映中の高倉健主演の映画「あなたへ」の舞台、薄香港が平戸のすぐ近くだったので、運転手さんに廻ってもらいました。映画の舞台そのままの富永写真館（写真右）や、健さんが散骨のために乗船した船などが実在しており、映画の場面を彷彿とさせて印象が深かったです。

来年の医史跡巡りは、9月の第二日曜日に、久留米・秋月を予定しています。ぜひ、来年もお出かけ下さい。



現存する富永写真館

以下、前山会長より送られた医史跡巡り写真と文より

Hirudo Tour
Sept. 09, 2012 10:10



おかげさまで楽しいバス・ツアーでした。たいへんお世話になりました。

取り急ぎ画像 10 枚、小生のデジカメからサイズを小さくして添付しました。

肝心の平戸商館はカメラ不調で外形を撮れませんでした。

尚、下記は高倉健主演「あなたへ」の中で、田中裕子が歌う宮沢賢治作詞の童謡「星めぐりの歌」です。

これから、平戸への観光客が益々増える事でしょう。

Hirudo Tour
Sept. 09, 2012 10:17



あかいめだまの	さそり
ひろげた鷺の	つばさ
あをいめだまの	小さいぬ、
ひかりのへびの	とぐろ。

オリオンは高く	うたひ
つゆとしもとを	おとす、
アンドロメダの	くもは
さかなのくちの	かたち。



大ぐまのあしを	きたに
五つのばした	ところ。
小熊のひたいの	うへは
そらのめぐりの	めあて。



上から平戸駐車場、松浦史料博物館への石段、史料博物館の河童の河太郎図、生月島の鯨博物館前

会員情報

■ 相良隆弘会員から、佐賀城本丸歴史館の「近代医学の幕開け」展のお知らせです。ぜひおでかけください。記

企画展名：「近代医学の幕開け」展

主 催： 佐賀県立佐賀城本丸歴史館

開催主旨：日本の医学は漢方医学から蘭方医学、そしてドイツ医学へと移り変わる。

その契機に大きく関わった伊東玄朴・相良知安の業績を紹介します。

開催期間：平成24年9月28日（金）～11月4日（日）

開催場所：「佐賀城本丸歴史館」（佐賀市城内2-18-1）

相良さんの家からまだあまり出されたことのない資料も出ているようです。

■本年度総会案内

・相良さんが企画してくれました。12月16日（日）は総会です。

本会の今年度「総会・発表会」が、12月16日（日）に開催されますが、その場所と懇親会（忘年会）の会場と時間が決まりましたので、併せて下記の通りご報告いたします。

記

◎「佐賀医学史学研究会総会・発表会」

1. 日 時：平成24年12月16日（日）午後15：00～18：00

2. 場 所：「グランデはがくれ」（3F：天山の間）50名収容。

◎「佐賀医学史学研究会」忘年会

1. 日 時：12月16日（日） 18：00～20：00

2. 場 所：「グランデはがくれ」（3F：赤絵の間）

3. 会 費：5000円（飲み代・税込み）

4. 参加者は、25名程度で予約しています。

■佐賀学のススメ講座のご案内

・添付資料のような講座が9月29日から佐賀大学で開かれます。青木が最初に話します。3000円と有料ですが、まだ若干の余裕があるようです。よかったらご参加ください。

■第二回在来知歴史学国際シンポジウムが、10月25日から28日に、佐賀大学大学会館で開かれます。中国から8人の研究者が来日し、佐賀などから17人の研究者が参加して在来知について研究します。次号で詳しい案内を致しますが、入場無料（ただし資料代1000円）ですのでお出かけください。

■佐賀玉屋の「鍋島文化の世界展」に、長女貢姫（みつひめ）にあてた直正公の直筆の手紙がでています。年代がわかる早い時期のものといえましょう。10月1日までという短い期間なので、見逃すことのなきよう、ぜひ足を運んでみてください。大園隆二郎さんの解説がついていますから、読みやすいです。

文書は、次のように解説できます。「（後筆）「嘉永五年子十二月」 一寸内々申遣候、殊外（ことのほか）、寒也、さて磯はま少々不快之由、御間々（より）承知いたし候得共、委敷（くわしく）不相知候処、此度（伊東）玄朴より懸合（かけあい）、委細致承知候、磯井はしめも、心配と存候、右二付、和らんだ妙薬二品、良英杯（など）より、此度玄朴迄遣候筈也、其内容子（ようす）委しく可申遣候 めでたく かしく 十二月初八」

乳母だった磯はまの具合が悪いことを聞いた直正が、藩医大石良英からオランダの妙薬を江戸の伊東玄朴へ送るからそれで治療するようにというもの。その後、磯はまは治癒し、回復した事を怡（よろこ）んでいる手紙も展示されています。直正公が大石良英や伊東玄朴など蘭方医を重用していたことがよくわかります。

閑叟公の人柄浮かぶ

乳母気遣う 直筆の手紙

2012.9.25
嘉永五年十二月頃歟



鍋島直正が長女貞姫に宛てた手紙。乳母だった磯濱の容体を気遣っている

あすから公開

佐賀玉屋で「鍋島文化の世界展」



磯濱の喜寿を祝い、鍋島直正と古川松根が贈った肖像画

佐賀藩の近代化を進め、幕末・明治期に活躍した10代藩主鍋島直正（閑叟、1814～71年）が88歳の時、長女貞姫に宛てた直筆の手紙が、直正の乳母だった磯濱の子孫宅（佐賀市）に保管されていたことが分かった。70歳を過ぎた磯濱の容体を気遣った手紙で、直正の人柄がうかがえる内容となっている。

同市の写真家大塚清孝さん（65）が主宰する青雲塾で8月に直正をテーマにした講演会を開いたところ、聴講した子孫から手紙は「磯濱の具合が悪いと聞いている。オランダの薬を大石良英から伊東玄朴まで届けてもらった。そのうち磯濱の容体を知らせしてほしい」と気遣っている。子孫宅には直正と古川松根が喜寿の祝いとして磯濱に贈った肖像画も保管されており、同展で公開する。松根が肖像画を描き、直正が詩句を添えている。大塚さんは「厳格だった乳母を慕う直正の優しい心情が読み取れる。家臣を大事にした直正ならではの手紙といえるのでは」と話している。（藤生雄一郎）

ら手紙の所在を知らされた「嘉永五（1852）年十二月頃歟」と記録されており、佐賀藩主鍋島家の伝家宝を所蔵する鍋島興成会・徳古館は「現存する手紙の中では古いもので、年代を正確に特定できる貴重な資料」としている。26日から佐賀玉屋で開く「鍋島文化の世界展」で初公開する。

会員情報

現在、10月25日から28日にかけて佐賀大学で開かれる国際シンポの準備に追われています。中国の研究者8人、日本側研究者17人の研究報告には、医学史の報告もあります。入場無料（ただし資料代1000円）ですので、ご参加ください。申し込み・お問い合わせは地域学歴史文化研究センター（0952-28-8378）まで。彼岸をすぎると、急に朝夕が涼しくなりました。御自愛ください。（青木歳幸）